

# スイッチでのアクセスポートマルチキャスト TV仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)メン バーシップの設定

## 目的

仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を使用すると、ローカルエリアネットワーク(LAN)を論理的に異なるブロードキャストドメインにセグメント化できます。機密データがネットワーク上でブロードキャストされるシナリオでは、特定のVLANにブロードキャストを指定することでセキュリティを強化するためにVLANを作成できます。VLANに属するユーザだけが、そのVLANのデータにアクセスして操作できます。また、VLANを使用して、ブロードキャストやマルチキャストを不要な宛先に送信する必要性を減らし、パフォーマンスを向上させることもできます。

マルチキャストTV VLANを使用すると、各サブスクリバVLANのマルチキャスト送信フレームを複製せずに、同じデータVLAN上にないサブスクリバにマルチキャスト送信を行うことができます。同じデータVLAN上になく、異なるVLAN IDメンバーシップを持つデバイスに接続されている加入者は、ポートを同じマルチキャストVLAN IDに結合することで、同じマルチキャストストリームを共有できます。

マルチキャストサーバに接続されているネットワークポートは、マルチキャストVLAN IDのメンバとして静的に設定されます。ネットワークポートは、Internet Group Management Protocol(IGMP)メッセージを送信することにより、加入者を介してマルチキャストサーバと通信し、マルチキャストパケットヘッダーにマルチキャストTV VLANを含めて、マルチキャストサーバからマルチキャストストリームを受信します。

この記事では、アクセスポートをスイッチ上のマルチキャストVLANのメンバになるように設定する方法について説明します。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、[Cisco Business:新用語一覧](#)。

## 該当するデバイス

- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx500シリーズ
- Sx550Xシリーズ

## [Software Version]

- 1.4.7.05 - Sx500シリーズ
- 2.2.5.68 - Sx350シリーズ、SG350Xシリーズ、Sx550Xシリーズ

## スイッチでのアクセスポートマルチキャストVLANメン バーシップの設定

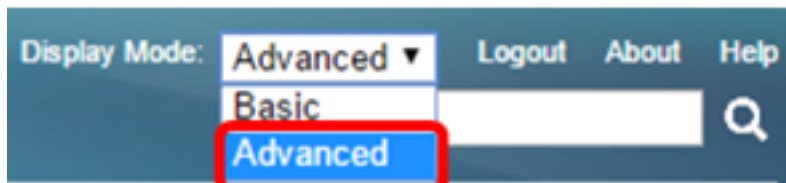
### アクセスポートのマルチキャストVLANへのマッピング

1つ以上のIPマルチキャストアドレスグループを同じマルチキャストTV VLANに関連付けることができます。任意のVLANをマルチキャストTV VLANとして設定できます。マルチキャストVLANには次の機能があります。

- Multicast-TV VLANに割り当てられたポートは、自動的にMulticast-TV VLANに参加します。
- マルチキャストTV VLANの出力ポートを通過するパケットはタグ付けされません。
- ポートのFrame TypeパラメータはAdmission Allに設定されており、タグなしのパケットが許可されます。

マルチキャストTVグループをVLANにマッピングするには、次の手順に従います。

ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[表示モード]ドロップダウンリストから[詳細]を選択します。

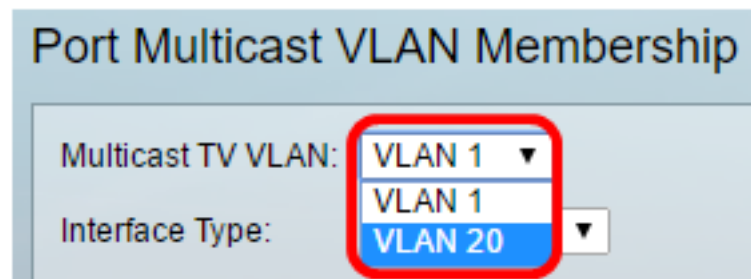


注：Sx500シリーズスイッチを使用している場合は、ステップ2に[進みます](#)。

ステップ2:[VLAN Management] > [Access Port Multicast TV VLAN] > [Port Multicast VLAN Membership]の順に選択します。



ステップ3:[Multicast TV VLAN]ドロップダウンリストからVLAN IDを選択します。



注：この例では、VLAN 20が選択されています。スイッチでVLANを設定する方法については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

ステップ4:[Interface Type]ドロップダウンリストからインターフェイスタイプを選択します。

Interface Type: Port of Unit 1 ▾  
Candidate Access Ports: Port of Unit 1  
LAG

次のオプションがあります。

- ユニット：スタック内のユニット（アクティブ、メンバ、またはスタンバイ）のユニットIDと、そのユニットで使用可能なポート数が[Candidate Access Ports]領域に表示されます。
- LAG：スイッチの複数のポートが組み合わされて、リンク集約グループ(LAG)と呼ばれる1つのグループが形成されます。このオプションを選択すると、使用可能なLAGが[Candidate Access Ports]領域に表示されます。

注：この例では、ユニット1のポートが選択されています。

ステップ5:[Candidate Access Ports]リストには、デバイスに設定されているすべてのアクセスポートが表示されます。インターフェイスを選択し、>ボタンをクリックして、ポートを[メンバーアクセスポート]領域に移動します。

Candidate Access Ports: Member Access Ports:

GE2  
GE3  
GE5  
GE6  
GE8  
GE9  
GE10  
GE11

>

<

注：この例では、GE8が選択されています。

ステップ6:[Apply]をクリックして、設定を実行コンフィギュレーションファイルに保存します。

Multicast TV VLAN: VLAN 20 ▾

Interface Type: Port of Unit 1 ▾

Candidate Access Ports: Member Access Ports:

GE2  
GE3  
GE5  
GE9  
GE10  
GE11  
GE12  
GE13

GE1/8

Apply Cancel

ステップ7:(オプション) [Save]をクリックし、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。

Save

cisco

## 10 Gigabit PoE Stackable Managed Switch

### Port Multicast VLAN Membership

Success. To permanently save the configuration, go to the

Multicast TV VLAN:

Interface Type:

Candidate Access Ports:

Member Access Ports:

これで、ポートMulticast TV GroupをVLANに設定できました。

### マルチキャストVLANからのアクセスポートの削除

ステップ1:[Member Access Ports]領域でインターフェイスを選択し、[<ボタンをクリックして、ポートを[Candidate Access Ports]領域に戻します。

Multicast TV VLAN:

Interface Type:

Candidate Access Ports:

Member Access Ports:

注：この例では、GE1/8が選択されています。

ステップ2:[Candidate Access Ports]リストの一番下までスクロールして、ポートの移動を確認します。

Multicast TV VLAN: VLAN 1 ▼

Interface Type: Port of Unit 1 ▼


Candidate Access Ports: Member Access Ports:

GE44  
GE45  
GE46  
GE47  
GE48  
XG2  
XG4  
GE8

Apply Cancel


ステップ3:[Apply]をクリックして、設定を実行コンフィギュレーションファイルに保存します。

ステップ4: ( オプション ) [Save]をクリックし、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

 Save cisco

## 10 Gigabit PoE Stackable Managed Switch

### Port Multicast VLAN Membership

 Success. To permanently save the configuration, go to the

Multicast TV VLAN:

Interface Type:

Candidate Access Ports:

Member Access Ports:

これで、スイッチのマルチキャストTV VLANへのアクセスポートが設定されているはずです。

[このリンクをクリックして、スイッチのカスタマーポートマルチキャストTV仮想ローカルエリアネットワーク\(VLAN\)メンバーシップを設定します。](#)